

こすりだし図鑑

こすり出しをすることで容易に形が写しとれること、写しとれた形から、見た目では読みとりづらい特徴を知ることができます。こすり出したものはお土産になるし、絵が苦手な人も楽しめる。

ねらい

こすり出しとして写しとることで、特徴を浮き彫りにしてとらえ、読みとることができることを知る。

達成目標

- ・こすり出すコツを説明できるようになる。
- ・どんなものがこすり出ししやすいか例をあげられる。
- ・こすり出すことで、新たに発見した自然の特徴を説明できる。



導入

こすり出しをした例を見せる。何をこすり出したものかを探してみる。「今日は自然の中にあるいろいろな形をお土産にもって帰らしましょう」と投げかける。

展開

こすり出したいものをさがしに行く。クレヨンや軟らかい色鉛筆を使ってこすり出してみる。皆の作品を壁にはり出すが、コピーをして束ね、皆で見られるようにする。

まとめ

こすり出しの作品を見せあう。こすり出しをしてみたの感想や発見したこと、気づいたことを紹介しあう。

実施のポイント

葉っぱをこすり出す時には、葉の裏側をこすり出そう。こすり出す時に、葉が動かないようにするのがコツ。木に葉がついたままできれば、自然への優しさを意識できる。

評価の視点

上手にこすり出せたかどうかよりも、こすり出しをして発見したこと、気づいたことをコメントできるかに注目したい。また、いろいろな葉にチャレンジしたことも評価したい。

発展・応用

本の木のいろいろな場所をこすり出して、一枚の模造紙にはってみよう。一本の木のこすり出し図鑑になる。こすり出したものに目をつけたりして、デザインとして扱っても楽しい。こすり出しをする前に観察したこと。

参考文献

オリジナル/「山のふるさと村ビジターセンター
平成11年度環境教育活動報告書」

◆所要時間 40分～1時間

◆人数 15人

◆関連科目 図画工作、理科

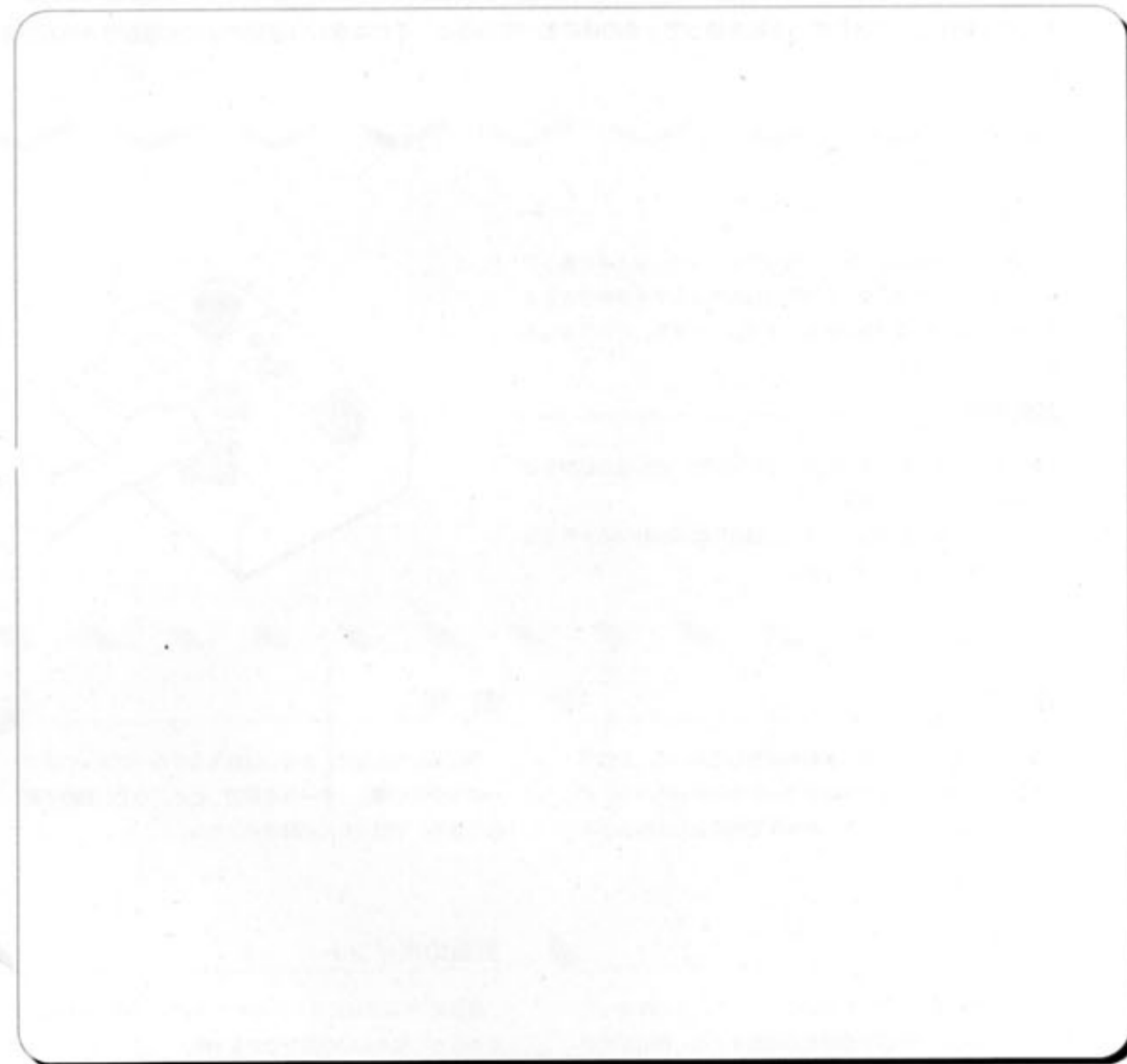
◆焦点を当てる能力 見る、えらぶ、こする
配置する、探す、さわる

◆準備するもの 薄い紙、色鉛筆、クレヨン
クリップボード

◆安全のポイント ウルシなどのかぶれる植物に
注意する。

こすりだし図鑑

◆そのままこすり出してみるか、半紙などの薄い紙にこすり出して貼り付けてみましょう。



◆こすり出したもの

◆こすり出しの前に観察したこと

◆こすり出しをして新たに発見したこと・気づいたこと

年 月 日 氏名